

菊池栄一 きくいち せいいち ドイツ文學者、文學博士。明治二十六年八月十七日  
秋田縣生れ、昭和六十一年八月二十五日歿（九〇三二六）。昭和二十東  
京帝國大學文學部獨文科卒。第一高等學校教授等も經て、二十四年東  
大教養学部教授、二十年ハンブルク大學客員教授、のち日本大學教授。  
五十五年日本ゲーテ協會會長。『菊池栄一著作集』全四卷（昭和五十  
九年刊）がある。

譯書に、ライナー・マリヤ・リルケ作『神の語』（昭和十五年十月十  
日弘文堂書房「世界文庫」）、ゲーテ小説集』（昭和十八年七月）  
十竹社又堂書店）、ロベルト・シンチンゲル著『實在の省察』（共譯、  
昭和二十二年五月）十竹弘文堂書房）、ゲーテ著『色彩論』（昭和二十  
七年一月八日岩波書店「岩波文庫」）、ライネル・マリヤ・リルケ  
作『神とまの語』（昭和二十八年一月）二十五日白水社「白水社世界名  
作選」）、コドネイツ短篇集』（共譯・相良守峯編、昭和二十八年四月  
十五日河出書房「市民文庫」）、リルケ短篇集『愛と死と祈り』（昭  
和二十九年四月十日白水社「白水社世界名作選」）、『ゲーテ神と世  
界』（共譯註・小紋健夫編、昭和二十九年四月二十日第二書房）等。  
著書『ゲーテへの道』（合著・相良守峯編、昭和二十四年十月）二十日  
櫻井書店）、『コドネイツ文学』（合著・手塚實雄編、昭和二十七年十月）  
二十日毎日新聞社「毎日ライブラリー」）等。菊池栄一教授還曆記  
念会編『ゲーテの比較文学的研究—菊池栄一教授還曆記念論文集』（昭  
和二十九年五月十五日前文堂出版有限公司）刊。